

熊本県立天草青年の家 指定管理者 令和4年度(2022年度)
管理運営評価票

所管部課:教育庁市町村教育局社会教育課

I 施設の管理概要

指定管理者名	ひとつくりJAPANネットワーク・三勢共同体
指 定 期 間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
施 設 概 要	<p>① 所在：上天草市松島町合津5500番地</p> <p>② 施設：本館、講堂、宿泊棟、体育館、屋根付き運動場、キャンプ場等</p> <p>③ 目的：本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほか、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。</p>
指 定 管 理 料	311,073,000円（4施設（天草青年の家、菊池少年自然の家、豊野少年自然の家、あしきた青少年の家）を一括で委託、利用料金制）

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	21,586人	23,424人	前年度実績 15,626人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>新型コロナウイルスの影響で受入数を定員の概ね半数を目安としているため、研修者延べ数はコロナ前（平成31年度）と比べると減少しているが、令和3年度実績と比べると増加し、結果として目標値を上回っており、利用者の呼び戻しに向けて、工夫しながら受け入れを行ったと認められる。</p> <p>県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しているため、期間中の事故発生が0であった点について評価できる。</p>			

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	ボイラー運転監視	通年	
保守点検	電気設備保守点検	年12回	専門業者に委託
	エレベーター設備点検	年12回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	地下タンク保守点検	年1回	同上
	ボイラー保守点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	空気環境測定	年6回	
	害虫駆除	年2回	専門業者に委託
	高架水槽清掃	年1回	同上
	簡易専用水道検査	年1回	同上
	水質検査（残留塩素）	週1回	
	浄化槽保守点検	年24回	専門業者に委託
	浄化槽清掃	年2回	同上
	浄化槽法定検査	年1回	同上
	し尿汲み取り	年1回	同上
	吸収式冷温水器点検	年3回	同上
建築設備定期点検	年1回		
<p>【点検・調査結果及び評価】 施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおりに実施されている。頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。</p>			

② 運営事業実績

〔主な事業・イベント〕

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
集団宿泊教室担当者セミナー①②	4/18～19 4/28 7/26	45人	施設を利用予定の集団宿泊教室担当者に、研修の意義や効果的な利用方法について習得してもらう。また、体験活動における指導者の安全管理意識及び指導技術の向上を図り、充実した集団宿泊教室を実施してもらえるようにする。
ファミリーキャンプ in あませい	5/3～4	28人	天草ならではの自然体験活動を通して、自然への興味関心を高めるとともに、家族の絆を深める。
あませい楽校①～⑧	6/18～ 3/11	204人	地域の子供達に向けて、年間を通して体験活動の機会を設け、地域の魅力に気づき、地域を誇りに思う子供達を育成する。また、各活動を通して、天草の将来を担う子供達を育成する。
あませい無人島キャンプ	8/7～10	12人	天草の海や山に囲まれた大自然の中での共同生活を通して、仲間と協働するための「思いやりの心」や「工夫する力」を身につけるとともに人間としての強さやたくましさを育む。
明日にきらめけ！チャレンジ元気ッズ！	9/3～4	18人	子供達に、自然体験活動を通して外遊びの楽しさについて理解を深めてもらう。また、子供達の創造力やコミュニケーション能力を高め、たくましく生きる力を育成する。
たのしいきやんぶ	10/8～10	9人	キャンプ活動を通して、仲間と協力する大切さ、キャンプの楽しさやスキルを学ぶとともに、子供達の交流を図る。
秋の祭典	10/30	653人	地域関係機関と協力し、連携を図ることで多くの体験活動を地域の方々知っていただく機会を設ける。また、青年の家の活動に対する理解を促し、地域に根ざした施設として発展することを目的とする。
アウトドアセミナー	11/6	11人	野外活動に興味のある若者や学校関係者に様々な野外活動を体験してもらい、体験活動の重要性や指導方法を学んでもらうことで、野外活動の推進を図る。
あませい通学合宿	2/19～22	9人	共同生活体験を通して、子供達の自立心を育むとともに、日常生活への感謝の気持ちを醸成する。また、保護者が自らの家庭環境を見直す機会とする。

【点検・調査結果及び評価】

令和3年度は新型コロナウイルスの影響により12事業が中止となったが、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業は0であり、実施数は令和3年度と比較して8事業増加した。コロナ禍でも実施できるように事業内容の見直しを行い、実施した事業はほぼ定員に達したことは評価できる。

地域の自然等の特色を活かしたプログラムを実施した他、より多くの人に自然体験活動の機会を提供したことは評価できる。

3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	359 日	359 日	100.0%
	宿泊可能日数	358 日	358 日	100.0%
	利用日数	259 日	217 日	119.4%
	利用率	72.1%	60.4%	119.4%
	利用者実数	10,441 人	8,403 人	124.3%
	利用者延べ数	18,672 人	13,327 人	140.1%
キャンプ場	開館日数	359 日	359 日	100.0%
	宿泊可能日数	358 日	358 日	100.0%
	利用日数	2 日	8 日	25.0%
	利用率	0.6%	2.2%	25.3%
	利用者実数	2 人	33 人	6.1%
	利用者延べ数	4 人	61 人	6.6%
出前講座等	利用者実数	3,069 人	292 人	1051.0%
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>令和4年12月から受入れの制限を解除したこともあり、前年度に比べて利用者が増加しており、コロナ禍以前の利用者数に戻りつつある。利用者が増加した中で、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしっかりと行い受け入れを行ったことは評価できる。</p> <p>出前講座については、新型コロナウイルスの影響で自粛されていた自治体主催イベント等が実施されたことにより、令和3年度と比べて大幅な利用増となったことは評価できる。</p>				

4 管理経費の収支状況

① 収入			
項目	内訳	金額 (円)	
利用料金収入	本館	一般 1,653 人、高校生以下 6,278 人、就学前の者 48 人	2,772,850
	キャンプ場	一般 2 人、高校生以下 0 人、就学前の者 0 人	640
	宿泊を伴わない利用	一般 2,420 人、高校生以下 1,071 人、就学前の者 219 人	295,550
指定管理料	指定管理者による本施設への振り分け	79,292,000	
企画事業等収入	18 事業	1,071,150	
その他活動収入	出前講座 45 団体	111,050	
プログラム活動料金		387,250	
食事代		14,253,350	
シーツ等クリーニング代		962,880	
雑収入		416,927	
合計		99,563,647	
	収入未済額	0	
	うち利用料金収入分	—	

② 支出		
項目	内訳	金額 (円)
人件費		59,680,850
運営管理費	旅費、管理費、活動プログラム費等	9,038,363
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	29,743,389
企画事業費		881,826
合計		99,344,428
【点検・調査結果及び評価】		
利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。		

5 利用者調査結果

調査実施 内容	調査年月日	令和4年4月1日～令和5年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	345 団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよく ない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	299	86.7	34	9.9	11	3.2	0	0	0	0	1	0.3
	活動内容	179	51.9	22	6.4	13	3.8	0	0	0	0	131	38.0
	職員の受入れ対応	314	91.0	26	7.5	3	0.9	0	0	0	0	2	0.6
	職員の指導・助言	252	73.0	26	7.5	8	2.3	1	0.3	0	0	58	16.8
	食堂スタッフの対応	129	84.3	17	11.1	7	4.6	0	0	0	0	192	※1
	食事の質	95	61.3	42	27.1	16	10.3	2	1.3	0	0	190	※2
	食事の量	90	59.2	45	29.6	14	9.2	3	2.0	0	0	193	※3
	屋内の施設・環境	196	56.8	46	13.3	18	5.2	0	0	0	0	85	24.6
	屋外の施設・環境	187	54.2	39	11.3	13	3.8	1	0.3	0	0	105	30.4
	また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答	
	288	86.0			46	13.7			1	0.3	0	0	
利用者からの意見等	特になし												
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>令和3年度とほぼ同様の結果であり、利用者の満足度は概ね高いと評価できる。前年に比べると、「食堂スタッフの対応」、「食事の質」の質問項目における「非常によい」と回答した割合が上昇しており、利用者のサービス向上に向けた取り組みの成果と見受けられる。今後も利用者の意見を踏まえ、満足度向上につながるような施設運営を期待したい。</p>													

※1～3 食事をとっていない団体は無回答のため、比率計算の分母に算入せず。

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特記事項なし	
【点検・調査結果及び評価】	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
コロナ禍で減少した利用回復に向けて広報活動を行うこと。	自治体の広報や公式 LINE、生活情報誌等、企画事業にあわせた広報媒体を活用したことで新たな利用者の確保につなげることができた。また、施設の Facebook や Instagram を活用して随時情報発信を行った。 事業の様子がテレビ放映されたことで、天草青年の家における体験活動の理解、周知につながった。
【点検・調査結果及び評価】 SNS 等を活用した積極的な広報活動により、施設の認知度向上や利用者の増加につなげている点について評価できる。	

8 その他

特記事項なし